

4 新設昇格その他による小・中学校の設置廃止校

管内	新設学校名	廃止する学校名
耶麻	熱塩加納村立宮川小学校	熱塩加納村立加納小学校宮川分校
北会津	猪苗代町立市沢小学校	猪苗代町立吾妻第一小学校市沢分校 議場分校
安達	岩代町立東小学校	岩代町立西新殿小学校東分校
田村	常葉町立関本中学校	常葉町立常葉中学校関本分校
南会津	檜枝岐村立檜枝岐中学校赤岩分校	檜枝岐村立檜枝岐中学校大津岐分校
石城	常磐市立湯本第三中学校	
安積	郡山市立小原田中学校	
北会	耶麻郡猪苗代町立市沢中学校	耶麻郡猪苗代町立吾妻第一中学校議場分校

5 校名変更校

管内	新校名	旧校名
信夫	岳陽中学校	福島第六中学校
信夫	清明小学校	福島第五小学校
信夫	三河台小学校	福島第六小学校
相馬	向陽中学校	中村第三中学校

6 高等学校の新設廃止校

高等学校生徒の急増対策の一環として二本松工業高校、喜多方工業高校の二校が新設され、37年4月から各機械科1学級(定員45名)電気科1学級(定員45名)の2学級で発足した。

定時制については、川俣高校山木屋分校が廃止され湯本高校の夜間定時制、喜多方高校の農業科(短産)耶麻高校の家庭科(短産)の募集を停止した。

7 特殊学校の新設校

平整肢養護園の養護学級をもととして去る昭和35年11月、県立養護学校が新設された訳であるが、今回郡山市に養護学校の新校舎が出来ることとなり、平の養護学校を県立養護学校の平分校とすることになった。

第3節 教職員の定数

1 小学校

(1) 教職員数

児童数が昭和35年度にくらべて、13,331人の減となったため、それに伴い教員数は281人の減となった。事務職員数は配当基準を18学級以上(本校+分校)と改めたため、27人の増となった。

補充教員数は1表の通りであるが、今年、新に長期研修生の補充教員を確保することができた。

1表 小学校教職員定数

	36年	35年	増減
教員	9,105	9,386	△ 281
補充教員	186	214	△ 28
休職休暇	88	109	△ 21
産休	81	91	△ 10
長休	14	14	0
長研	3	0	3
事務	150	123	27

(当初)

(2) 教職員の配当基準

教員の配当基準は、前年度に引きついで23学級及び6学級が改善された。

養護教員数は法定定数を25人、事務職員数は26人と上まわっており、その配当は2表の通り全国平均からみると、配当基準が相当よくなっていることがわかる

2表 養護、事務職員の配置されている学校

		小学校		中学校	
		養	事	養	事
34年度	全国	25.2%	25.3%	12.8%	44.5%
	本県	54.2	25.8	10.1	58.9
35年度	全国	30.5	22.5	16.5	37.0
	本県	44.8	22.1	22.5	61.1
36年度	全国	30.4	21.5	19.4	38.8
	本県	41.9	25.3	26.3	52.7

(基本調査速報より)

(3) 教員の男女別構成

教員の男女別構成は3表の通りである。

3表 小学校教員の男女比

	%	20	40	50	40	20
32年	51.6					
33年	52.4					女
34年	52.6					
35年	52.4					
36年	51.7					